

福祉部だより



「ふれあい・いきいきサロン研修会」を開催 2月12日

当日はふれあい・いきいきサロンのリーダーの方7名にお出かけいただき、感染予防を図りながら研修会を行いました。今回は、雲南省の国際交流員デレク ライマン氏にアメリカ文化の紹介をしてもらいました。デレクさんは米国のオハイオ州の出身で、日本には6年間ほど在住、雲南省の交流員は3年目、とても日本語がお上手で、ユーモアも交えながらのお話でした。出身地のオハイオ州は日本と同じ四季はあるが、「梅雨」はない。台風や地震は発生しないが竜巻が発生するため、各家には地下室が作られている。また街並みの様子などお話をいただきました。米国では生ものを食べる文化やカラオケボックス、温泉(多数で入浴する)などもなく、日本に来て、はじめは戸惑ったそうです。しかし、お寿司を食べてみたら、美味しい。☺️ 温泉、入ってみたら、気持ちいい。👏 カラオケ、やってみたら楽しい。👉 みんな好きになったと話されました 😊 私たちも他国に行ったら、戸惑うことはかりでしょうが、やってみたり、食べてみたら案外大丈夫と思うこともあるのではと思いながら話を聞きました。デレクさんは、多くの国に行っておられ、沢山の人と出会い色々な文化を知って、お互いを認め合うことが大事であると話されました。その後、趣味であるピアノで聞き覚えのある曲を演奏してもらいデレクさんの「アメリカ文化講座」は終了しました。いつもとは、違った形での研修会でしたが、参加いただいたみなさんからは、「日本語が上手でびっくりした。」「色々な話が聞けて良かった。」「ピアノ演奏も良かった。」など感想をいただきました。

また、今回一緒に参加いただいていた社会福祉協議会大東支所遠藤主幹からは、「コロナ禍であってもこうした交流を図ることは大事なことであり、楽しい時間を広げていきましょう。」とお話いただきました。1時間ほどでしたが異国文化に触れた良い時間でした。参加いただいたみなさんありがとうございました。お疲れ様でした。

研修会の様子



「配食サービス事業情報交換会」を開催 3月9日

配食サービス事業情報交換会を開催し令和2年度の総括を行いました。はじめに山本英利福祉部長がコロナ禍においても、変わらずお届け、見守りをいただいているボランティアのみなさんに感謝を述べられました。次に、社会福祉協議会大東支所の配食サービス担当田中千恵主幹から雲南省の状況をお話いただきました。2月末現在で配食数は昨年度に比べ 1,100 食あまり増加していて、新規申請は 52 件あったということでした。ボランティアさんからは、「積雪があり心配したが何事もなくてよかった。」「数回、留守のことがあり心配した。連絡なり、メモなりあるといい。」「また「保冷バッグのファスナーに紐があると開け易い。」などボランティアさんならではの意見がありました。今年度もみなさんのご協力により、スムーズなお届け、安否確認を行うことができました。ありがとうございました。



情報交換会の様子

令和2年度

配食サービス実施状況

| | |
|----------|------|
| 配食利用者 | 7名 |
| 配食ボランティア | 5名 |
| 配食日数 | 239日 |
| 配食数 | 908食 |

「第2回高齢者見守り支援活動情報交換会」を開催3月12日

今年度2回目の高齢者見守り支援活動情報交換会を感染症予防の観点から参加者を縮小して開催し、今年度の総括を行いました。

はじめに、山本英利福祉部長から福祉委員さんに日頃の活動のお礼を述べられました。また「福祉部の事業はコロナ禍においても工夫をしながらほとんどの事業を行うことができました。」と報告されました。その後議題に入り自治会内での見守り支援の現在の様子をお聞かせいただきました。一年の間には亡くなられた方や入院、施設入所など多くありました。常会がコロナ禍で中止の自治会もあり、顔を合わせない、情報が入らないといったことも、近所の方に情報をもらったりして、さりげない見守りをしておられました。課題としてあげられたのが、「独居の方の具合が悪くなられた時にその方の持病や既往症などがある程度はわかっていた方がよいのでは」という意見もありました。また、陶山民生委員からは、「みなさんからの些細な情報が大事です。何でもいいのでお聞かせ下さい。」と話されました。

その後、一緒にご参加いただいていた社会福祉協議会大東支所遠藤ひとみ主幹からは、「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」という動画を見せていただきコロナウイルスは「病気」「不安」「差別」の3つの顔を持った感染症であり私たちの生活に影響を及ぼします。みんながそれぞれの立場でできることを考え、行動しましょう。と話されました。最後に福祉委員さんの交代があるところは、引継ぎをしていただき見守り支援に支障のないことをお願いして会を閉じました。

参加いただいたみなさんお疲れ様でした。



令和2年度阿用いきいき応援隊実施報告

| 月 | 件数 | 応援内容 | 応援事業所 | 月 | 件数 | 応援内容 | 応援事業所 |
|----|----|------|------------|-----|----|------------|------------|
| 4月 | 2件 | 草刈り他 | けあき、おたがいさま | 8月 | 4件 | ハウスのシート替え他 | けあき、おたがいさま |
| 5月 | 1件 | 草刈り | おたがいさま | 9月 | 2件 | 草刈り | けあき、シルバー |
| 6月 | 3件 | 草刈り | けあき、シルバー | 10月 | 1件 | ハウス片づけ | けあきの会 |



利用者数
5名

・夏季の草刈り作業がほとんどで応援者のみなさんにはお世話になりました。利用者の方には、とても喜んでいただきました。



ふれあい・いきいきサロン活動報告



| サロン名 | 回数 | 延べ参加人数 | サロン名 | 回数 | 延べ参加人数 |
|--------------|-----|--------|------------------|----|--------|
| なかよし会(寿会) | 5回 | 85名 | 横手谷カルチャークラブ(横手谷) | 8回 | 70名 |
| さわやかグループ(東上) | 10回 | 45名 | 川西サロン(川西) | 8回 | 98名 |
| 三峠なかよし会(三峠) | 8回 | 45名 | 下岡サロン(下岡) | 5回 | 20名 |
| 宮内茶飲み話会(宮内) | 9回 | 54名 | 阿用いきいき健康サロン | 7回 | 100名 |

コロナ禍でも、工夫をして、其々がサロンの仲間との交流を大事にして活動をされました。このような時だからこそ、人とのふれあいが一番だと感じています。
「気軽に、無理なく、楽しく！」続けましょう。

この一年はコロナ禍、「新しい生活様式」での活動となりました。地域のみなさんのご協力により少しずつ交流の場をつくることができました。ありがとうございました。

配食サービスや阿用いきいき応援隊、うんなん幸雲体操に関することなど、聞いてみたいことがありましたら、阿用交流センターまでご連絡下さい。 電話43-2811 有線2796-02